



前進

第8号

2月12日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎3学期は学年のまとめと次年度の0学期

インフルエンザが全国的に流行しているようですが、佐敷小では学級閉鎖や学年閉鎖等まで至らず、現在のところ落ち着いた状況を保っています。

1月8日（水）の始業式では子どもたちに次のような話をしました。

「3学期は0学期」です。今の学年のまとめを丁寧に行い、次の学年の準備を行うために「今年の目標を立てよう」「一日一日を大切にすごそう」「自分の成長を実感しよう」を心掛けましょう。

3学期は一人一人が自分の成長を振り返る貴重な機会となります。今年度も残り少なくなりましたが、充実した学年のまとめにしたいと思います。

◎持久走頑張りました

冬の風物詩、持久走を今年度も頑張りました。朝のランランタイムで目標を持ちながら頑張って練習し、体育の時間に目標タイムを設定したり自分の力を確かめたりし、最後に持久走大会で存分に力を発揮しました。

ランランタイムで走る子どもたちに話しかけると、息を切らしながらも「走るのは楽しいです。」「持久走カードのマークを満杯にします。」と話してくれる子どもたちもいて、走るのを楽しんでいる子どもが多いことが印象的でした。

持久走大会は天候による延期や雪の中での開催など、想定外となる場面もありましたが、多くの保護者の方に来校いただきありがとうございました。

皆様の応援が子どもたちの励みになり、どの子どもも精一杯の力を発揮できたと思います。



◎工夫した縦割り班活動

佐敷小では、定期的に縦割り班活動を実施し、1年生から6年生までのつながりを大切にしています。3学期の縦割り班活動は予定していた外での遊びが雨天のためできなくなったので、室内での遊びに変更しました。リーダーの6年生は予め雨も想定し、室内での遊びも計画してくれました。



写真は多目的ホールでフルーツバスケットを行っている班の様子です。短い時間でしたが、喜んで笑顔が絶えないひとときでした。

昼休みも、学年を越えて一緒に遊ぶ子どもたちの姿も良く見られます。学年を越えた関わりは社会性を培うことに有効だと考えています。

◎雪が降りました

寒波の影響で、2月5日（水）は午前中にみるみる雪が積もりました。校庭も白くなり、子どもたちのテンションも上がり、昼休みは運動場で大喜びでした。なかなか雪が積もらない九州ですので、ちょっとした思い出になると良いなあとと思います。お迎えに来ていただいた保護者の皆様にはお世話になりました。



◎「おばあちゃんの台所」第2弾！

冬休みには、夏休みに引き続き「おばあちゃんの台所」を開催していただきました。えびを使ったお雑煮など、芦北ならではの料理をご指導いただきました。



【校長室から】 持久走大会の開催にあたり、子どもたちには「自分への挑戦」であるとともに、「応援を頑張ってもらいたい」という話をしました。大きな声を出して「頑張れー」と応援してくれる子ども、ベランダで繰り返し「がんばーれ、がんばーれ」と声援してくれる可愛い1年生、ペースは遅くても最後まで走り抜こうとする子どもに寄り添って一緒に走る姿など、見ていて心温まる場面がたくさんありました。